

令和7年度以降に協議会が実施する取組について

- 普及啓発・広報活動を通じて、**多様な関係者(漁業関係団体、民間企業、行政機関等)の参画・連携を推進**し、各地区で実施している取組の継続・規模拡大を図る。
- 漁業関係者と民間企業との**マッチング**を推進し、新たな取組の実施につなげる。
- 令和7年度事業では、研修会の開催や普及啓発資材の作成等の取組を検討中。

地区の取組

コアモ群落の管理、海中林の造成、磯焼け対策等の取組を継続する。

取組	R7予定
コアモ群落の管理	事業化に向けた調査等
海中林の造成	技術開発を継続
磯焼け対策	漁業者等が実施する取組の支援 (藻場のモニタリング、食害対策等)

協議会の取組

詳細は次項

普及啓発・広報活動を実施し、関係者の理解増進、協力者の拡大、新たなアイデアの募集を図る。

	令和7年度事業(案)
①	研修会の開催
②	ホームページによる周知
③	普及啓発資材の製作
④	漁業関係者と民間企業のマッチング

なぜ普及啓発・広報活動を実施するのか

目標

漁業生産性の向上とブルーカーボン創出を両立する取組の拡大

問題

問題

ブルーカーボンについて
知る機会が不足

課題

関係者の理解増進、
取組事例の周知
(普及啓発)

事業案

- 研修会の開催
- ホームページによる周知

漁業者(取組実施者)
が減少

多様な主体
(民間企業等)の
参画を呼び掛け
(広報活動)

- 普及啓発資材の製作
- 漁業関係者と民間企業とのマッチング

新たなアイデアが不足

現状

- 主な取組:コアマモ群落の管理、海中林の造成、磯焼け対策 (スポアバッグ、食害対策等)
- 取組実施者:漁業者 (一部、民間企業が関与)
- ブルーカーボンに対する社会的関心が高まる一方で、藻場の消失が拡大...
(漁業生産性の低下)

令和7年度の取組(例)

① 研修会の開催

漁業関係団体、民間企業、行政機関等の関係者に、他県の先進事例や県内の事例を周知する



ブルーカーボンに関する理解増進を図るとともに、藻場造成や海藻養殖等の手法を学び、関係者が現場で役立てる材料とする

※令和6年7月に(国研)水産研究・教育機構と共催した「ブルーカーボン」の活用に向けた、藻場形成・拡大セミナー」では、関係者計128名が出席。



令和6年7月セミナーの様子

② ホームページによる周知

県内の取組について紹介するページを作成
協議会の概要や県の取組事例を県HPに掲載
(ブルーカーボンに関する問い合わせを受理)



関係者に県の取組を周知し、新規参入を図る



千葉県ホームページ

令和7年度の取組(例)

③ 普及啓発資材の製作

関係者の理解増進や、新規参入を促進する上で効果的な資材等を製作する

	 リーフレットの製作	 ロゴデザインの製作	 コアマモ混抄紙の活用
目的	<ul style="list-style-type: none"> ブルーカーボンに対する関係者の理解・興味の増進 	<ul style="list-style-type: none"> 取組のPR 県内でブルーカーボンの取組を推進する機運の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> コアマモ群落管理の取組支援 混抄紙を活用した取組のPR
内容	<ul style="list-style-type: none"> ブルーカーボンの仕組み (CO₂貯留プロセス、吸収係数...)、藻場の重要性、クレジット制度、取組事例等を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い者の目に留まるロゴデザインを製作 (例:千葉県の藻場をモチーフにしたイラスト+ブルーカーボンを推進するメッセージ) 	<ul style="list-style-type: none"> コアマモ群落管理の一環で製作されているコアマモ混抄紙を関係者で試用
対象・活用方法	<ul style="list-style-type: none"> 関係者(漁業関係団体、民間企業、行政機関等)に配布 HPにデータを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会が作成する資材、HP等に掲載。 ブルーカーボンの取組実施者に使用を許諾 	<ul style="list-style-type: none"> 主に名刺台紙等として使用 ブルーカーボンに関するメッセージやロゴを付し、名刺交換等の機会を通じて取組を周知
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ブルーカーボンの基本的な情報を、関係者が簡単に参照可能にする 	<ul style="list-style-type: none"> 漁業関係団体、民間企業等の自発的な取組参加を促す 	<ul style="list-style-type: none"> コアマモ混抄紙の活用拡大により、取組の継続・拡大を図る

令和7年度の取組(例)

④ 漁業関係者と民間企業のマッチング

漁業生産性の向上のために藻場の保全・海藻養殖に取り組みたい漁業関係団体と、CO₂排出削減等のためにブルーカーボンを創出したい民間企業を仲介する

ホームページによる周知

県内の取組事例等を周知
問い合わせを受け付け
(窓口の連絡先を掲載)

普及啓発資材の製作

リーフレット・ロゴ等を製作
関係者の自発的な参加を促進

研修会の開催

関係者の理解増進
取組事例を周知

民間企業
への広報

マッチング

- 民間企業等から、ホームページ等を通じて協議会に問い合わせ



- 協議会で提案内容を精査

漁業生産性の向上に資するか...
実施に適した地区はどこか...



- 漁業関係者を紹介・打合せを実施



- 漁業関係者の理解が得られれば取組を開始

漁業関係者
への啓発